

<事業者の概要>

1. 所在地：鳥取県東伯郡琴浦町大字徳万731
2. 代表者：代表取締役 種子 善之
3. 主な品目：あご入り鰹ふりだし、野菜ブイヨン、ふりかけ
4. 主な輸出先国・地域：香港、韓国、中国
5. 事業概要：主たる業種は建設業。2008年食品分野へ参入。食品事業部が取り扱う「あご入り鰹ふりだし」「野菜ブイヨン」「ふりかけ」(3種類)を自社通販サイトや県内外の卸、商社へ販売。2020年7月に鳥取県版HACCPを取得。



2019FOODEXPO香港の様子



あご入り鰹ふりだし

【輸出の取組内容】

- 主軸商品の「あご入り鰹ふりだし」は、「だし文化」の香港へ継続的(月1回)に輸出、香港イオンで販売し好評を得ている。また、韓国では、取引先がインターネットで販売し、認知度の向上や輸出拡大に繋がっている。「野菜ブイヨン」は中国向けに輸出を開始、また「ふりかけ」は香港へ年1回程度スポット販売を展開。各商品ともさらなる輸出に向け、PR活動に取り組む。
- 2019年に開催された「2019香港FOODEXPO」ジャパンパビリオンのイベント会場では「あご入り鰹ふりだし」がプロの料理人の調理デモの紹介食材に選ばれ、多くの来場者にPRすることができた。

【取組経緯】

- 国内需要に限りがある中、アジア圏は、鍋物など日本と類似する食文化を持つ国があることから、販路拡大の可能性があると考え、2015年から(公財)鳥取県産業振興機構の支援を受け、韓国へ輸出を開始。

【課題と対応方法】

- 言語の違い
→とっとり国際ビジネスセンター等による同行支援や通訳サポートの支援を受け、現地での活動を円滑に進める。
- 商品のPR
→輸出国の料理に合った「だし」の活用方法を提案するため、現地の言語で作成した自社パンフレットに「だし」を使用したレシピを掲載した。

【実績】

輸出額 (万円)		輸出国・地域割合 (%) (2019年度)	
2017年度	235	香港	65
2018年度	230	韓国	25
2019年度	152	中国	10

【今後の事業展開】

- ✓ 日本の「だし」文化の可能性を求め、商社やバイヤーとの連携や商談を重ね、アジアを中心として欧米にも製品の良さを発信し、さらなる輸出拡大を図る。
- ✓ FSSC22000の認証取得を目指しており、自社商品の食品安全性をアピールし、新規取引先の開拓に繋げる。